

日本から世界に飛び出す！

社会科の発信，交流，連携の一步を支援する

令和6（2024）年10月13日（14:30～16:00）

場所：鹿児島大学

情報社会（Information and Communication Technology：ICT）の進展は、経済社会の急速な変化をもたらしている。社会科教育に関する国際的な発信や交流も必須となり、海外との連携も求められている。しかし、海外へのアクセスは物理的には容易になったものの、国際的に活動を展開している研究者や実践者の数は多いとは言えない。その要因の一つは、「発信，交流，連携」に関する知見の共有が進んでいないことにあるのではないだろうか。

本ラウンドテーブルでは、本企画の第1回目として、全国社会科教育学会が重点的に参画してきたISSA（International Social Studies Association）の大会や論文誌（The Journal of Social Studies Education in Asia：JSSEA）また国際学会等で発表された方々に、発表や論文執筆の方法、自分自身への意義、これからの展望などを語っていただく。そして、アジアはもとより世界各地における研究交流や国際学会・研究会等での発表や交流に関心をもつ参加者からの質疑応答を交えながら、どのような研究発信や交流が可能なのか、スタートアップからアップデートまでを語り合いたい。

- コーディネータ 趣旨説明：2024～2025年のJERASS国際委員会企画
峯 明秀（大阪教育大学）
- 話題提供者
2021年度ISSA年次大会発表・JSSEA第11号（2022）執筆者
阪上 弘彬（千葉大学）
2022年度ISSA年次大会発表・JSSEA第12号（2023）執筆者
岩橋 嘉大（兵庫県立青雲高等学校）
2022・2023年度The World Association of Lesson Studies (WALS)発表
柴田 康弘（飯塚市教育委員会）
2023-2024 ISSA理事・JSSEA専門委員会責任者
川口 広美（広島大学）

発表及び論文執筆の方法、自分自身への意義、今後の展望、そして国際学会発表の手続き、JSSEAへの期待をそれぞれ語っていただきます。発表者を囲んでの質疑応答 25分

☆会員以外の方でも参加できます。会場の都合上、QRコードから→参加申込み下さい。



会場責任者：溝口 和宏